

寄り添い つながる 広報誌

福祉 わかやま

2023
6月号
vol.429

この広報誌の発行に一部共同
募金配当金を利用しています。



今月の表紙

友ヶ島
ビーチクリーン活動
和歌山市立高松小学校
(P3に関連記事)

特集P2-4

ふくし
と
環境

環境問題に向き合うこと、 それは人を想うこと

わたし発で環境問題に取り組もう

県社協の情報など
SNSで発信中



Facebook



Instagram



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会



環境問題に向き合うこと、それは人を想うこと

わたし発で環境問題に取り組もう

『福祉』ってなんだろう。

辞書で調べると「福」も「祉」も「しあわせ」を意味する言葉です。

福祉(ふくし)とは **ふ**だんの **く**らしの **し**あわせとも言われています。

今、この「ふだんのくらしのしあわせ」が脅かされる事態が起きています。

その一つに、地球温暖化の影響による世界各地での異常気象や山火事、大干ばつの発生があります。

日本でも、線状降水帯の発生、局地的大雨での甚大な被害が毎年のように出ています。

これらの自然環境に及ぼす影響は、私たちの行為が要因の一つと言えます。

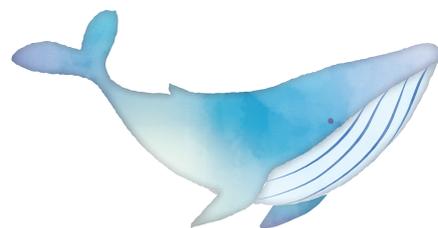
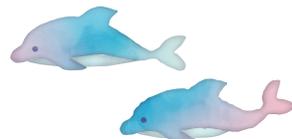
今号では、ふくしと、環境問題について考えます。

地球温暖化

人間の活動から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスによって地球の気温が上昇する現象のこと。環境問題の中で最も深刻なものの一つなんだ。

環境問題

環境を汚染、悪化、または破壊することから生じるあらゆる問題を総称して使われているんだよ。



海洋ごみ(プラスチックごみ)問題

石油から作られるプラスチックは燃やすと二酸化炭素を発生して地球温暖化の原因となるうえ、海に流出すれば簡単に分解せず、大きさ5ミリメートル以下の微細なマイクロプラスチックとなって海中を浮遊し、生態系を含む環境汚染を引き起こすんだ。

私たちにできることはたくさんある

私たちの周りには、環境問題を「自分ごと」としてとらえ、自分たちにできることは何かを考え、行動に移されている人が多くいます。

海洋プラスチックごみ削減に向け、小学生と企業が協働 小学生(和歌山市立高松小学校)×企業(株式会社オークワ)

和歌山市立高松小学校5年生

社会科のごみの学習をきっかけに環境問題について、学びを深めていきました。

子どもたち自ら、(一社)加太・友ヶ島環境戦略研究会 平井 研先生を講師に招き、海洋ごみの現状や和歌山市内の海岸のごみ問題について学びました。

友ヶ島は自然豊かでとてもきれいな海でしたが、一部の海岸にはごみがありました。

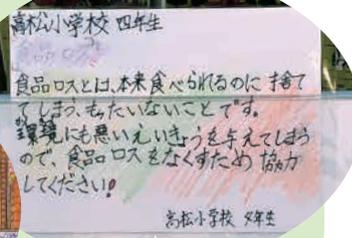
自分たちの家族・地域の人たちに海洋ごみの問題を伝えなければと思いました。



実際に海洋ごみ問題の現状を見たいとの思いが募り、和歌山市友ヶ島に行くことに。

友ヶ島のビーチクリーン活動をきっかけに、 小学生と企業がつながりました。

お客さんや従業員へ環境への取組についてインタビュー。



食品ロスについても調べました。

自分たちが伝えたいことをオークワ店内に掲示してもらいました。

学習を振り返って

環境問題について、多くの人に伝えることができ良かったです。これからも伝えていきたいです。



令和5年3月21日、子どもたちは、学習発表会で1年間の取組について報告をしました。

食品ロス削減と子どもたちへの支援を目的に

令和3年8月、株式会社オークワと県社協は「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」を締結しました。締結以降、県社協に届けていただいたお米の量は、4,042.2kg(令和5年4月末現在)になります。



・SDGsへの貢献
(地域発展のために、地球のために)
・食品ロスの削減と資源の有効活用



30市町村社協・県社協
・地域福祉の推進
・生活に困難を抱えた個人・世帯の支援等

オークワサステナビリティ推進室

きぬがさ たけし
衣笠 武志 課長

地域と共に成長発展していただける社会を目指し、地域の方々と一緒に考え、行動する取組をこれからも増やしていきたいです。

野上のすてきなごみ仲間

紀美野町の山里から海を守る

今から30年前に、環境問題に関心のある、紀美野町の仲間が集まってできたのがボランティアグループ、「野上のすてきなごみ仲間」です。

これまで、生石高原や町内の道路、河川敷の清掃活動等多岐にわたる活動を行ってきました。

令和4年からは、町民に手作りの広報誌で呼びかけをし、使い捨てカイロ(使用済みや期限が切れたもの)の回収を行っています。

集めたカイロは、水質浄化剤を作っている団体に送ります。カイロの中身はキューブにされます。そのキューブをヘドロの中に沈めて川や海を浄化しようという活動に賛同し、これまで町内で集めた使い捨てカイロは、約152kg(令和5年4月末現在)になります。

佐本さんの声

(野上のすてきなごみ仲間のメンバー)

「私たち、環境問題に取り組んでるといっても、難しいことは、なんにもしてないよ、昔は寒かったらひとつの部屋に家族が集まって過ごしたり、洋服も今のように使い捨てみたいなことなかったから、お正月に新しい服買ってもらって、それをずっと大事にしたり、「もったいない精神」があふれてたわな、それを令和になっても変わらず続けてるんよ。ごみの問題も「ほっとけやん」から始まって、今いるところで、できることを続けてるだけよ。」

なかいかおる
中井薫さん

気づけばもう30年も
続けてきたんやねえ。

活動は、楽しんで
やってきたよなー

よしむら しげみ
吉村栄美さん
(会の代表)

家庭で出る生ごみは
たい肥にしてるんよー

さもと あやこ
佐本綾子さん

「野上のすてきなごみ仲間」が5月と11月に植え替えを行っている。最近では、黙って草を抜いていってくれる住民もいる。



未来に渡って、私たちの子孫の「ふだんのくらしのしあわせ」が守られるためには、環境問題に立ち向かう必要があります。

それには、私たち一人ひとりの意識の変容が不可欠です。

私たち一人ひとりの暮らしや仕事の場面において、自分はどんなアクションができるかを考えてみませんか。そして、何かひとつでも、できることから行動してみませんか。

その積み重ねの先に、持続可能でしあわせな未来があるのではないのでしょうか。

【お問合せ先】

和歌山県社会福祉協議会 TEL073-435-5222

県社協職員が家庭や 職場で取り組んでいること・

これから取り組もうとしていること

- カラー印刷を極力無くし、両面コピーを心掛けています。
- まずは、自分が住んでいる自治会のメンバーと、地域のごみ拾いから始めます。
- ビーチクリーンや植樹活動に積極的に参加していきたいです。
- このアンケートをきっかけに環境問題について、家族と話し合いたいです。

県社協
職員にアンケートを
とってみました!



人と人の
つながりを
大切に

有田川町社協
たまき ひさよし
玉置 久義 さん

有田川町の情報

- 社協の相談体制
5名(兼務を含む)
- 社協のイチオシ事業
社協つなぎ資金貸付事業
居場所づくり事業
- 人口(令和5年4月末現在)
25,508人
- 特産品
有田みかん
ぶどう山椒



有田川町の景観

社協では、低所得世帯等に対して、必要な資金の貸付けと相談支援を行う生活福祉資金貸付事業を実施しています。

その最前線で活躍する有田川町社会福祉協議会の玉置さんから借入相談をきっかけにした相談支援の取組事例を伺いました。

つながり

最初の関わりは家事援助

20代女性の一人暮らし。近年では障害児者相談支援事業所が関わりをもっていました。町社協の関わりは、障害福祉サービスの家事援助として調理や掃除などのお手伝いからはじまりました。

「お金を貸してくれませんか？」

ある日、ご本人から「お金を貸してほしい」と相談がありました。詳しく話を聴くと、仕事を辞めたことで生活費が足りなくなったようでした。まずは町社協独自の食料支援と生活費の貸付けを行うとともに、就職活動の支援を自立相談支援機関と連携して行いました。その後、ご本人とのやりとりを重ね、アルバイトが決まりましたが、社協以外からの負債もあり、お給料の金銭管理に不安を感じましたので、福祉サービス利用援助事業

貸付後も相談支援は続く

貸付けは終了し、福祉サービス利用援助事業の利用にも至りませんでした。ご本人は困ったことがあれば連絡をくれます。ご本人が地域で自立した生活が出来るよう、これからも寄り添っていきます。

(※)を提案しました。一旦は本事業に向きな姿勢を示されましたが、「もう少し自分で頑張ってみる」というご本人の意見を尊重しつつ、地域とのつながりが継続できるように関わり続けたいと考えています。

※福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行う事業



令和4年度 赤い羽根共同募金の結果報告

県民の皆様方には、赤い羽根共同募金運動にご協力を賜り誠にありがとうございました。

令和4年度赤い羽根共同募金には1億2,224万円の寄付金が寄せられました(対前年度比97%)。

「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチコピーとして、和歌山県でいただいた募金は主に和歌山県内の福祉活動に役立てられます。皆様から善意の寄付をいただくことができたおかげで、たくさんの方の団体・施設が取り組む福祉課題を解決する活動のために活用させていただきます。

ご協力誠にありがとうございました。引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金助成先

- 民間福祉施設 1,537万円
- 特定非営利活動法人 1,322万円
- その他福祉関係団体 3,633万円
- 社会福祉協議会 6,967万円
- テーマ型募金活動団体 1,799万円
- 地域に密着した支援活動等 3,367万円
- 災害等準備金 3,555万円

◎過去の活用事例は、ウェブサイト「赤い羽根 データベース はねっと」ウェブアドレス <https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home> に掲載しています。

お問合せ先
社会福祉法人和歌山県共同募金会
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
TEL073-435-5231 FAX073-435-5232

赤い羽根 わかやま



メール info@akaihane-wakayama.or.jp
HP <https://www.akaihane-wakayama.or.jp/>

障がいがある方一人ひとりが自立できますように



就労移行支援・就労継続支援 A 型

さくらマーリン

さくらマーリンは、障がいのある方が、生活的・経済的・精神的に“自立”できるよう、県内初のICT技術習得を中心とした就労移行支援・就労継続支援A型の多機能型事業所です。

管理者・代表の山本隆雄さん、サービス管理責任者・所長の森本洋さんにお話を伺いました。



※さくらマーリンでは、見学・体験を受け付けています。電話等からご連絡ください。

TEL0736-32-5015
メール: info@sakuramarlin.com

みんなに働く選択肢を

以前、ある事業所で利用者さんと接した際、あまりやりがいがあるようには感じられませんでした。彼らには、もっと他にやりたいことがあるはず...と考え、県内初のICTスキル習得を中心とした就労移行支援・就労継続支援A型事業所を橋本市に開設しました。ICTを選んだ理由は、需要が高く、かつ、努力次第でスキルを上達させリモートワークなど柔軟な働き方が可能なこと。eスポーツなど新しい分野が生まれていること。賃金も高くある程度の経済的自立が目指せると考えたからです。何より「こういう仕事もあるよ」と選択肢や可能性を一つでも多く示すことが重要で、障がいがあるからと諦めるのではなく、埋もれている能力を開花させてあげたかったからです。

一人ひとりにあわせた支援を

現在16名の利用者が登録し、内、15名が精神に障がいを抱えています。昨日まで元気に通ってくれていたのに、急に休まれてしまったり、こちらが励ましの言葉を投げかけても、それを重荷に捉えられることもあり。スタッフ全員で「些細な変化にも気付けるようになろう」と情報共有を図り、一人ひとりの行動・言動に配慮したきめ細かい支援を目指しています。さくらマーリンでは、ICTスキル習得を中心に据えています。他のにも、社会人として必要なコミュニケーションの習得、俳句・ヨガ等非日常を体験するプログラムなどを組み、利用者にかよひ変化が起きるよう支援しています。また、体調や精神面の管理も、カウンセリングの実施や病院との連携を図りケアに努めています。

常に先を:

今後は、地元しながら遠隔地の会社へ就職を目指すリモートワーク可能なサテライトオフィスの開設や、メタバースを活用し、自宅が山間地や交通の不便な所の方でも訓練できる仕組みの提供も計画しています。私たちの最大の目標は、彼らが“自立”した生活を営むこと。そのために、一つでも多くのやりがい(可能性)を感じていただけるよう、スタッフ全員で利用者を支援していきます。

福祉人材キャリア形成支援研修 申込受付中

研修名	開催日時	会場	受講申込期限
①介護支援専門員 試験対策勉強会Ⅰ	①7月13日(木) ②7月20日(木)	和歌山ビッグ愛 オンライン (併用)	6月22日(木) (必着)
②介護支援専門員 試験対策勉強会Ⅱ	どちらも 10:25~16:00		
介護技術研修 (基礎編)	7月18日(火) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	6月27日(火)
①社会福祉法人の 会計研修(初任者編)	①8月3日(木) ②8月8日(火)	和歌山ビッグ愛 オンライン (併用)	7月13日(木)
②社会福祉法人の 会計研修(実務編)	どちらも 10:25~16:00		
アンガーマネジメント研修	8月17日(木) 10:25~15:30	和歌山ビッグ愛	7月27日(木)
児童の権利擁護・虐待防 止研修	8月29日(火) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	8月8日(火)
人材確保支援研修	9月5日(火) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	8月15日(火)

※研修の受講には、受講料がかかります。 ※定員(先着)になり次第締め切ります。
 ※介護支援専門員試験対策勉強会、会計研修は、別途テキスト代がかかります。
 ※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。
 ※詳細は県社協ホームページをご覧ください。直接お問合せください。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止になる場合があります。



【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内) TEL073-435-5210

今月の情報発信コーナー

保育士応援カフェ



保育のお仕事についてお話をするサロンを開催します。

★お子様も一緒に参加できます★

【日時】

6月28日(水) 13:30~15:30

【会場】

よしみちサロンいおり
オークワパビリオンシティ
田辺レストラン街
(田辺市稲成町新江原3165)

【参加費】

無料 ※事前申込み優先

【お問合せ先】

紀南福祉人材バンク
TEL0739-26-4918



令和5年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償 事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円
	傷害見舞費用		

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

プラン1 オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ①休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ②消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12033 から抜粋)

受講料無料

介護の仕事未経験者向け 介護基礎研修会・就職相談会

介護の仕事未経験者を対象にした入門的な研修会を開催します。

介護に関する必要最低限の知識・技術を学ぶことができ、研修会の2日目には、未経験者でも安心して仕事を始められるよう就職相談会を実施します。

受講対象者: 県内の介護現場で就労を希望する方
介護の仕事に少しでも興味のある方
(定員20名:先着順)

日時: 7月14日(金) 9:30~17:00
7月15日(土) 9:30~16:00

※15時から、下記就職フェア会場
就職に関する相談ができます。

会場: 和歌山ビッグ愛 8階 会議室802



第1回 福祉・介護・保育の就職フェアわかやま

日時: 7月15日(土) 13:00~16:00
会場: 和歌山ビッグ愛 1階 大ホール

介護の仕事未経験者向け介護基礎研修会のお申込み・お問合せ先

県介護普及センター TEL0739-22-6589

就職相談会・就職フェアのお問合せ先

県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)
TEL073-435-5211

第26回 介護支援専門員 実務研修受講試験のご案内

介護支援専門員実務研修受講希望者に対して、介護支援専門員の業務に関する演習等を主体とする実務的な研修を行うに際し、事前に介護保険制度・要介護認定等・居宅サービス計画等に関する必要な専門知識等を持っていることを確認するための試験です。

試験日時: 10月8日(日) 午前10時~12時(全国一斉)

試験会場: 【紀北】県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
【紀南】情報交流センター ビッグ・ユー

「受験の手引き」の配布: 5月22日(月)~6月16日(金)(土日を除く)
下記の窓口で配布しています。

- 和歌山県社会福祉協議会 ● 和歌山県庁 長寿社会課
- 各振興局 健康福祉部 総務福祉課(串本支所含む)
- 各市町村 介護保険担当課

受験資格

- ① 国家資格等を取得後、登録してからの業務に従事した期間が5年かつ900日以上ある方。
 - ② 施設等において、法により必置とされる相談援助業務に従事した期間が5年かつ900日以上ある方。
 - ③ ①、②を通算して従事期間5年以上かつ900日以上ある方。
- ※詳しくは「受験の手引き」でご確認ください。

子どもたちの体や心も健康に

“玄米菜食”中心の給食



健康な体

豊かな人間性

集中力
思考力

《今日の献立》
えんどう豆玄米
野菜のかき揚げ
小松菜の梅肉和え
イリコ+味噌汁

太陽保育園(和歌山市)では、昭和53年の開園以来、一貫して「元気で強い子づくり」に取り組んでいます。園の給食は“玄米菜食”を基本に、食べ物の命をそのままいただく「全体食」の考え方を採用。イリコを毎日欠かさず献立にとり入れ、野菜や果物は皮をむかずに使用。肉を使用しないかわりに大豆ミート等からタンパク質を摂取しています。

薄着や裸足保育など、独自の「太陽健康保育」を実践中!
“太陽を食べる子どもたち”は元気です!

詳しくは
ホームページから

社会福祉法人太陽福祉会 太陽保育園

住所 和歌山県和歌山市土入284-12

TEL 073-455-3300



申込受付期間: 5月26日(金)~6月16日(金)(当日消印有効)
※受験資格、必要書類等を「受験の手引き」でご確認のうえ、所定の封筒を使用し、簡易書留により、和歌山県社会福祉協議会あてお申し込みください。

受験手数料: 8,400円

お問合せ・申込書提出先: 福祉人材研修部
〒640-8545 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛7階
TEL 073-425-6620(試験専用)
MAIL keamaneshiken@wakayamakenshakyoo.or.jp

※月曜日から金曜日(祝日を除く)9時から12時、13時から17時をお願いします。

※受験資格については、提出書類をもとにした確認が必要なため、電話等によるお問合せには、明確にご回答出来ない場合があります。

